

Profiles



鈴木優人 [指揮]

SUZUKI MASATO, Conductor

指揮者、作曲家、ピアニスト、チェンバリスト、オルガニスト。東京藝術大学およびオランダ・ハーグ王立音楽院を修了。アムステルダム音楽院にも学ぶ。第71回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第19回佐川吉男音楽賞受賞。

バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者／クリエイティブ・パートナー、関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。指揮者として、NHK交響楽団、ハンブルク交響楽団、オランダ・バッハ協会など、国内外の多数のオーケストラに客演。

2025年1月BCJとのヨーロッパ公演で指揮を務め、パリを始め各地で高い評価を集めた。

オペラにも積極的に取り組んでおり、特にモーツァルトの舞台作品に継続的に取り組むほか、22年には新国立劇場に指揮者として初登場。24年《魔笛》公演に続き、25年Bunkamura《ドン・ジョヴァンニ》公演で指揮を務め、大きな話題を呼んだ。NHK-FM「古楽の楽しみ」レギュラー案内役、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」、NHK「クラシックTV」「ららら♪クラシック」などメディアへの出演も多い。CD録音もBCJとのJ. S. バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。

X / @eugenesuzuki

Facebook & Instagram / masatosuzukimusic



安川みく [ソプラノ]

YASUKAWA MIKU, Soprano

徳島県出身。国立音楽大学、東京藝術大学大学院を経て、英国ギルドホール音楽院アーティストディプロマ課程で学ぶ。

Gold Medal 2023ファイナリスト(バービカンセンター)。オペラではHurn Court Opera《ドン・パスクワレ》ノリーナ役で英国デビュー。同年に刊行されたOpera Nowでは五つ星で評価された。

2019年より拠点を英国と日本とし、これまでにバッハコレギウムジャパン、東京交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル金沢等、国内のオーケストラの他、英国にてボーンマス交響楽団、バーミンガム市交響楽団(CBSO)フランスにてパドルー管弦楽団、マカオではマカオ管弦楽団等と共演。Celestial Voiceで出演した山田和樹指揮、CBSO《ファウストの劫罰》はBBC3で放送され、The Telegraphにて五つ星評価を得た。よんでん文化振興財団、Sidney Perry Foundation 奨学生。令和四年度文化庁新進芸術家海外研修員。



加来 徹 [バリトン]

KAKUTORU, Baritone

東京藝術大学大学院首席修了。大学院アカンサス賞受賞。二期会オペラ研修所を総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。バロックから現代音楽まで多くのジャンルを演奏しており、バッハ・コレギウム・ジャパンでは「マタイ受難曲」のCDに参加する他、2021年1月の『エリアス』ではタイトルロールを務め絶賛された。2026年3月から4月にかけて開かれるオランダバッハ協会の『マタイ受難曲』公演のソリストに抜擢され、オランダ各地での13公演の出演が予定されている。オペラシティ財団主催リサイタルシリーズ《B→C》では東京、福岡両公演満席の中、10ヶ国語による歌曲プログラムを熱演。また、オペラでの活躍もめざましく、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『ランメルモールのルチア』エンリーコ、二期会『金閣寺』鶴川、『ルル』シェーン博士、『こうもり』ファルケ等、数多くの作品に出演。2025年4月に5枚目のアルバム【TORU KAKU meets SCHUMANN】をリリース。NHK「リサイタル・ノヴァ」名曲アルバム「すくすく子育て」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアにも多数出演。洗足学園音楽大学非常勤講師。